

施策番号	施策名	令和4年度の数値目標・達成すべき状態	令和4年度当初事業計画	令和4年度末の達成状況		関係する機関・団体等 (赤字が回答機関)	市の関係課 (赤字が回答課)
				取組状況	評価		
①心がつながるコミュニケーション支援							
(1)情報の多言語化							
1	市ホームページやFacebook等による多言語情報の発信	①市ホームページアクセス数をポルトガル語5,600件、スペイン語1,200件、英語110件とする	①ホームページURLのリンクやQRコードを利用し、必要な情報にアクセスしやすくする。 ホームページアクセス数:ポルトガル語 3500件、 スペイン語 2000件、英語 1500件 必要に応じて動画を作成し、Facebookなどで周知する。	①メール配信や、Facebookの投稿の際、ホームページへのリンクを付け、アクセスしやすいように工夫した ホームページアクセス数(R4.4~R5.2):ポルトガル語 8801件、スペイン語 4473件、英語 3428件、やさしい日本語 4673件、ベトナム語286件、中国語 227件 コロナ関連のページへのアクセス数が上位を占めた	A		市民活躍課、政策デザイン課 (広報報道室)
		②Facebookユーザー数をポルトガル語800人、 スペイン語180人、英語180人とする	②Facebookユーザー数をポルトガル語1,200人、 スペイン語300人、英語400人とする	Facebookフォロワー数:ポルトガル語1,094人、 スペイン語291人、英語396人(R5.3現在)	B		
2	多言語によるメール配信及び周知	①登録件数をポルトガル語160件、スペイン語90件とする	①登録件数をポルトガル語350件、スペイン語200件とする	メール配信に加え、同じ内容をLINEでも配信した メール配信登録件数:ポルトガル語319件、 スペイン語165件 LINEの友達登録者数:ポルトガル語16件、 スペイン語13件	B		市民活躍課
		②平成30年度に英語のメール配信サービスを導入する	英語登録件数を120件とする	メール配信に加え、同じ内容をLINEでも配信した メール配信登録件数:英語 95件 LINEの友達登録者数:英語31件	B		
3	申請書類等の翻訳	必要な申請書類等の多言語化・やさしい日本語化を進め、外国人市民が利用しやすい環境を整える	【幼児課】 引き続き、必要書類の多言語化、やさしい日本語化を進める 【市民活躍課】 引き続き、必要書類の多言語化、やさしい日本語化を進める。従来のポルトガル語、スペイン語、英語、ベトナム語に加え、中国語の翻訳も進める。	【幼児課】 長浜市幼稚園・保育園・認定こども園ガイドブック等、入所に必要な書類のポルトガル語版を各園と課に設置した 【市民活躍課】 依頼を受け、書類の多言語翻訳ややさしい日本語の添削を行った	B		関係課
4	外国人市民のためのくらしのガイドブックの作成・配布	①継続してポルトガル語・スペイン語・英語・中国語の4言語で作成し、希望者に配布する。	引き続き、多言語で作成し、配布する。HPIにも掲載する。	内容について見直す必要があると判断し、内容の更新は行わなかった。より読みやすいように概要版の作成にとりかかった	C	NPO法人長浜市民国際交流協会	市民活躍課
		②平成31年度中に「やさしい日本語版」を作成する。	多言語版と同じく、やさしい日本語版も更新、配布(掲載)する。				
5	多言語及びやさしい日本語のパンフレット・チラシの作成と配布	必要なパンフレット・チラシの多言語化・やさしい日本語化を進め、外国人市民が情報の取得しやすい環境を整える。	必要なパンフレット・チラシの多言語化・やさしい日本語化を進め、外国人市民が情報の取得しやすい環境を整える。	【市民活躍課】各課からの依頼により、翻訳ややさしい日本語の添削を行った 中国語を新規で追加し、翻訳を行った また、多文化共生のまちづくり指針改定にあたり、パブリックコメントなどを多言語で実施した 【子育て支援課】業務(各種手当・給付金・放課後児童クラブの案内等)について、随時、ポルトガル語訳の作成と配布を行っている	A		関係課、市民活躍課
6	外国語版広報紙の発行	継続して情報提供を行う	ポルトガル語版・スペイン語版について、継続して情報提供を行う	ポルトガル語・スペイン語版の発行を毎月行った メール配信やホームページで周知した	B		政策デザイン課(広報報道室)、市民活躍課

施策番号	施策名	令和4年度の数値目標・達成すべき状態	令和4年度当初事業計画	令和4年度末の達成状況		関係する機関・団体等 (赤字が回答機関)	市の関係課 (赤字が回答課)
				取組状況	評価		
7	生活情報の発信	生活情報の発信回数を毎月発信の12回を維持する	生活情報を関連機関からの情報を共有して、フェイスブックで発信する	外国人市民に役立つ情報が、毎月なかったため、Facebook上では発信できなかった。	D	NPO法人長浜市民国際交流協会	市民活躍課
8	通訳・翻訳ボランティアバンク運営事業	①ボランティア登録者数を30人とする	ボランティア新規登録者数を5人を目標とする	ボランティアの募集は努めたが登録希望者があまりいなかった	C	NPO法人長浜市民国際交流協会	市民活躍課
		③通訳の派遣依頼に対応できる通訳ボランティアの制度を確立する。	依頼がある場合には通訳・翻訳ボランティアバンクより人材を適宜紹介する	翻訳依頼1件あったが、内容的にボランティアでできる範囲ではなかったため、他者を勧めた	C		
9	やさしい日本語の普及	①各種団体と連携し、「やさしい日本語」の地域での普及を図る	市民対象「やさしい日本語講座」を開催する等、地域での普及を図る	地域の企業、市民等を対象として「やさしい日本語でコミュニケーション講座」を開催した日本人15名、外国人8名が参加	B	NPO法人長浜市民国際交流協会	市民活躍課
		②平成30年度中にハンドブック等の啓発品を作成・配布する	引き続き、協力店にハンドブックや啓発品を配布し、「やさしい日本語」普及活動を進める。	やさしい日本語啓発のためのリーフレットとポスターを作成した	B		
		③市窓口担当職員を主に対象とした「やさしい日本語」職場研修を年に1回実施する	「やさしい日本語」職員研修を年1回以上実施する	やさしい日本語職員研修を開催した参加者：25名	B		
10	日本人向け外国語教室の開催	各教室の参加者数をポルトガル語26人、スペイン語9人、英語42人、中国語20人とする	需要が見込まれるポルトガル語やスペイン語などを目的に応じて特化した講座を開講する	新たな講座は需要がないため開催なし 既存の講座について、年間計画通り各講座ともに36回開催した	C	NPO法人長浜市民国際交流協会	市民活躍課
11	外国語を母語とする人への図書館サービス	①市図書館全体でポルトガル語や中国語などの外国語資料を、年に20冊以上収集する	①市図書館全体で、外国語資料を年に20冊以上収集し、提供する	市図書館全体で外国語資料を77冊収集した	A		生涯学習文化課(図書館)
		②外国人市民に年1回以上広報し、活用を図る	②外国人市民に年1回以上広報し、外国人の利用につなげる	国際交流協会や長浜まちづくりセンター等と共催の多文化関連のイベントについて広報をおこない、図書館の担当行事に29人の参加があった。イベントでは外国語の利用案内を配付するなど、今後の利用につなげるPRができた。また、図書館全職員で「やさしい日本語」をテーマに研修を行い、広報や周知文、貼紙等の表現にも配慮することができた。	A		生涯学習文化課(図書館)

施策番号	施策名	令和4年度の数値目標・達成すべき状態	令和4年度当初事業計画	令和4年度末の達成状況		関係する機関・団体等 (赤字が回答機関)	市の関係課 (赤字が回答課)
				取組状況	評価		
(2) 相談体制の充実							
12	通訳・翻訳サービスの確保	①通訳・翻訳者配置合計数21人を維持する	以下の通訳・翻訳者配置体制を維持し、通訳・翻訳サービスを確保する 市民課:ポルトガル語1人 滞納整理課:ポルトガル語1人、翻訳機の活用 子育て支援課:ポルトガル語2人(フルタイム1人、パートタイム1人) 社会福祉課:ポルトガル語1人 幼児課:ポルトガル語4人(幼児課1名、北保育園1名、さくらんぼ保育園1名、あざい認定こども園・とらひめ認定こども園兼任1名) 健康推進課:スペイン、ポルトガル語1人 ワクチン推進室:ポルトガル語1人 教育指導課:サポート支援員(9名)・初期指導員(2名) 市民活躍課:ポルトガル語2人、スペイン語1人、英語1人(パートタイム)、通訳者を必要な部署に派遣する、翻訳機・タブレット遠隔通訳を活用する	以下の通訳・翻訳者配置体制を維持し、通訳・翻訳サービスを確保した 市民課:ポルトガル語1人 滞納整理課:ポルトガル語1人、翻訳機の活用 子育て支援課:ポルトガル語2人(フルタイム1人、パートタイム1人) 社会福祉課:ポルトガル語1人 幼児課:ポルトガル語4人(幼児課1名、北保育園1名、さくらんぼ保育園1名、あざい認定こども園・とらひめ認定こども園兼任1名) 健康推進課:スペイン/ポルトガル語1人 新型コロナウイルスワクチン推進室:スペイン語1人(パートタイム) 教育指導課:サポート支援員(8名)・初期指導員(2名) ※1名欠員によりハローワークにて公募中 市民活躍課:ポルトガル語2人、スペイン語1人、英語1人(パートタイム)、通訳者を必要な部署に派遣した、翻訳機・タブレット遠隔通訳を活用した	A		関係課
		②通訳員を対象とした研修会・情報交換会を年2回開催する	【市民活躍課】通訳員を対象とした研修会、情報交換会、交流会を年2回開催する	庁内通訳員研修を1回開催した	C		
13	外国人市民等相談事業	長浜市民国際流協会の相談窓口について周知し、相談件数を60件とする	引き続き、暮らしの支えあい検討会にて課題を発掘して、関連機関と連携して行く	コロナ禍のため、社協との連携事業・暮らしの支えあい検討会の定期開催はなし。相談等があれば都度、相談業務にあたった	D	NPO法人長浜市民国際交流協会	市民活躍課
(3) 日本語や日本文化が学習できる環境づくり							
14	外国人市民のための日本語教室	①日本語教室ののべ参加者数を550人とする	感染症対策を行った上で、継続して日本語教室を実施する。	R4年度の参加者数はのべ410人。コロナ禍の影響があり目標までは到達しなかったが、参加者数は前年度より約230人多い見込み。感染対策を行った上で、継続して日本語教室を実施した	C	長浜ユネスコ協会	市民活躍課
		②日本語教室ののべ参加者数を350人とする	ボランティア主導で、講師・生徒に主導的に学習を進めて頂けるようサポートする	日本語教室延べ参加者数のべ650名	B	NPO法人長浜市民国際交流協会	
15	日本語指導ボランティアの確保と育成	①日本語指導のボランティア登録者数を40人とする	引き続き、中国語・ポルトガル語・スペイン語学講座受講の方に日本語教室を紹介して講師となって頂けるようサポートする	コロナ禍に於いて、指導者養成講座等の開催ができなかったため、日本語指導登録者の増加はなし	D	NPO法人長浜市民国際交流協会	市民活躍課
		②日本語指導のボランティア登録者数を12人とする(ユネスコ協会補足) 登録はしてない	②日本語指導のボランティア登録者数を12人とする(ユネスコ協会補足) 登録はしてない	昨年度より3人増え、11人	B	長浜ユネスコ協会	
		③指導者養成講座や研修に参加する	県内・市町で開催される日本語ボランティア養成講座に参加して頂くよう、案内する	ボランティアに周知したが、遠方であったり、都合が合わなかったため、他市町で開催される養成講座への参加はなし	D	NPO法人長浜市民国際交流協会、長浜ユネスコ協会	
16	日常生活体験事業	日本文化・日常生活を体験できる教室を4種類以上開催し、参加者を50人とする	季節に合わせた行事を行うおしゃべりサロンで、日本語と共に文化体験ができるような取り組みを行う	おしゃべりサロンで、田植え、稲刈り、七夕、豆まき等、季節の特色ある体験をした	B	NPO法人長浜市民国際交流協会	市民活躍課

施策番号	施策名	令和4年度の数値目標・達成すべき状態	令和4年度当初事業計画	令和4年度末の達成状況		関係する機関・団体等 (赤字が回答機関)	市の関係課 (赤字が回答課)
				取組状況	評価		
②安心して暮らせる生活支援							
(1)災害に対する備えの推進							
17	外国人市民のための防災情報提供事業	①継続して多言語の防災マップを公開し、各種ツールを利用してPRする	継続して実施するとともに、ホームページ上で公開している情報が言語によって異なっているため、掲載内容を見直す。	防災・避難情報などを多言語でホームページ掲載やメール配信しているが、ハザードマップ自体を最新情報に更新する必要がある	C	湖北地域消防本部	防災危機管理局
		②継続して避難所多言語看板の設置率100%を維持する	継続して実施する。	避難所多言語看板の設置率100%を維持できている(令和4年度に新規設置看板は無し)	B		防災危機管理局
18	自治会防災訓練への参加促進	外国人市民アンケートにより、市や自治会が行う防災訓練に「参加したことがある」と回答する外国人市民の割合を50%とする。	自治会からの依頼に応じて、自治会防災訓練の案内を翻訳するなどして、外国人市民への周知を行う	さざなみタウンでまちなかフェスタ実行委員会主催の「まちなか防災・防犯フェア」に参加いただけよう多言語翻訳をして案内した	B	湖北地域消防本部、地域自治会	防災危機管理局、 市民活躍課
19	外国人市民向けの防災研修会・ワークショップの開催	継続して、外国人市民を対象とした研修会もしくは防災ワークショップを年2回開催する	外国人市民向け防災ワークショップ、研修会を年1回以上開催する、もしくは、多言語の啓発動画など、周知する。	多言語で作成された防災動画をFacebookでシェアし、周知した	B	NPO法人長浜市民国際交流協会、湖北地域消防本部	防災危機管理局、 市民活躍課
20	災害時における支援体制の整備	平成31年度中に伝達マニュアルを作成する	災害時に備え、多言語でも利用できる情報伝達手段を外国人市民に周知する。	多言語でも利用できる情報伝達手段をメール配信やFacebookなどで周知した	B	NPO法人長浜市民国際交流協会、湖北地域消防本部、企業、事業所等	防災危機管理局、 市民活躍課
21	情報支援要配慮者(外国人市民)の把握	長浜市避難支援・見守り支えあい制度について周知する	・広報ながはまに、制度を周知する記事を掲載する。 ・外国語版リーフレットを設置する。	・広報ながはまに、制度を周知する記事を掲載した ・制度についての出前講座を実施した ・外国語版リーフレット(英語・ポルトガル語・スペイン語版)を申請窓口等に設置した	B		社会福祉課 災害時要援護者支援班(登録担当:高齢福祉介護課、情報伝達担当:市民活躍課)
22	『緊急カード』の普及啓発	①平成30年度にベトナム語を追記する	R1に完了			地域自治会、企業、事業所等	市民活躍課
		②「緊急カード」の普及啓発を行い、日本語ができなくても指差しにより意思伝達できるようにする	緊急カードを国際交流協会や、日本語教室、イベントなどで配布し、普及啓発を行う	滋賀県総合防災訓練で、多言語のチラシや緊急カードを配布した	B		

施策番号	施策名	令和4年度の数値目標・達成すべき状態	令和4年度当初事業計画	令和4年度末の達成状況		関係する機関・団体等 (赤字が回答機関)	市の関係課 (赤字が回答課)
				取組状況	評価		
(2)教育環境の整備							
23	就学前児童日本語指導支援	継続してプレスクールを週1回開催する	こどもの日本語教室にて、就学前、就学時、中学生も小学期間の学習をサポートする	月に3回、こどもの学び教室を開催した約30回開催のべ参加者約90名	B	NPO法人長浜市民国際交流協会	市民活躍課、幼児課
24	児童生徒の学習能力支援等	①継続して週1回開催する	学習共に、季節ごとの楽しいイベント(ハーブ作り体験、理科実験、粘土クラス)を行い、興味を持ってもらう	教室の目標が主に学習のため、学習面以外の体験教室は、ほぼなし	D	NPO法人長浜市民国際交流協会	市民活躍課
		③地域の学習支援教室と市の情報交換会を年1回以上開催する	地域の学習支援教室と随時情報提供し合い、必要な支援について話し合う	外国籍の子どもの学習支援を行っている長浜市民国際交流協会と随時情報共有した	B	NPO法人長浜市民国際交流協会	市民活躍課
25	外国人子どもサポート事業	継続してサポート支援員を派遣し、学習指導を支援する	サポート支援員や初期指導員の計画的な派遣・支援により、外国人児童生徒の日本語によるコミュニケーション能力と基礎的・基本的な学力の獲得を図る。 【配置人員】 サポート支援員(9名)・初期指導員(2名) 【配置校数】 8小学校・5中学校・1義務教育学校	担任および日本語教室担当教員と連携し、計画的に指導・支援を実施した。初期指導員を増員したことにより、日本語が全く話せない児童生徒に対し、よりきめ細かな初期指導対応や日本語習得を図ることができた。 【配置人員】 サポート支援員(8名)・初期指導員(2名) ※1名欠員によりハローワークにて公募中 【配置校数】 8小学校・4中学校・1義務教育学校	B		教育指導課
26	学校制度や進学制度に関する周知	進路ガイダンスや「未来のための進路ガイダンス」等により学校制度や進学制度についての周知を行う	【(公財)滋賀県国際協会】 「進路ガイダンス」10月実施予定 市内生徒および保護者、関係者の参加予定 【教育指導課】 従来より配信している「進路説明動画」を、スペイン語・タガログ語等にも対応した内容に広げていく。 (市公式Youtubeチャンネルに限定配信)	【(公財)滋賀県国際協会】 「進路ガイダンス」 日時:令和4年10月31日(土) 13:30~ 場所:滋賀県立男女参画協働センター 市内生徒および保護者の参加あり 【教育指導課】 「進路説明動画」 ・日本語指導担当者連絡会において内容を見直し、活用場面の拡大について共通理解した。 ・スペイン語版およびタガログ語版は作成中(翻訳は、終了。今後、音声を録音予定)	B	滋賀県教育委員会、公益財団法人滋賀県国際協会	教育指導課
27	新入学生への指導体制の充実	継続して毎年連絡会議を開催していく	園と小学校の連絡会議において、外国籍園児についての情報共有を行う。また、園と放課後児童クラブは、利用する外国籍園児についての支援状況共有を行う	園と小学校の引継ぎ会において、外国籍園児についての情報共有を行うとともに、各園から対象の学校へ必要に応じて個別に引継ぎを行った	B		幼児課、教育指導課、保育所、認定こども園、幼稚園、小学校
28	小・中学校における異文化理解教育の推進	学校における異文化理解に関する出前講座の実施件数を3件とする	学校における異文化理解に関する出前講座の実施件数を3件以上とする	長浜北小学校でブラジルの文化紹介出前講座を実施した(合計5回)	A		市民活躍課、教育指導課

施策番号	施策名	令和4年度の数値目標・達成すべき状態	令和4年度当初事業計画	令和4年度末の達成状況		関係する機関・団体等 (赤字が回答機関)	市の関係課 (赤字が回答課)
				取組状況	評価		
(3)労働環境の整備							
29	外国人雇用関係者への意識啓発	対象事業所の従業員総数に占める長浜市企業内人権教育推進協議会会員企業の従業員数の割合を60%とする	会員数:251会員 従業員総数:27,884人 ・コロナの影響で減少した社内外の研修の機会を、オンライン開催などの手法を活用しつつ増やす。また、ハローワーク長浜、就労支援団体等との連携を取り、外国人労働者雇用の実態把握に努める。同じく、企業訪問の機会を利用して、外国人労働者の実態把握に取り組む。	会員数:244会員 従業員総数:27,823人 ・事業所内の従業員の減少や事業所の統合に伴う脱会は12事業所(銀行の支店)。新たに入会した事業者は5事業所で、差し引き7事業所減少した。 ・年4回の研修会は、録画配信も併用し、より受講しやすい研修を実施した。 ・引き続き、ハローワーク長浜等との連携や企業訪問により、外国人労働者雇用の実態把握に努める。	B	企業、事業所等、ハローワーク長浜、滋賀県	商工振興課
30	外国人労働者に対する企業内研修等の実施促進	外国人労働者を対象とした研修会や支援等の実施率を47%とする	・令和3年度に実施した、外国人労働者調査を今後の対策に活用する。 ・社内研修の充実を促すため、研修用DVDの紹介を強化し、利用促進に努める。 ・湖北地域職業対策連絡協議会(市加入)の研修においてこうした課題の共有に取り組めるよう働きかける	・長浜市企業内人権教育推進協議会会員企業のうち、81社で外国人雇用が行われている。(外国人雇用総数は約1,100人。)81社のうち、70%にあたる57社の事業所で外国人に対する研修が行われた。 ・外国人労働者にも分かりやすい社内研修用DVDを購入した。	A	企業、事業所等、ハローワーク長浜、滋賀県	商工振興課
31	外国人市民への就職活動支援(相談窓口)	相談における紹介率:19.00% 相談における就職率:6.00% 紹介における就職率:37.00%とする	感染症の影響により、外国人労働者が多く従事する派遣労働者の就労が不安定となっているため、紹介率や就職率を少しでも高めてもらうよう働きかける。	相談における紹介率:6.3% 相談における就職率:1.8% 紹介における就職率:28.5% ※令和4年4月～令和5年1月のハローワーク長浜調べ	D	ハローワーク長浜	商工振興課
32	外国人市民への就職活動支援(外国人就労・定着支援研修)	受講者数を50人とする	受講者数を定員の90%以上とする	今年度は2レベル開催し、各レベル20人の定員に対し、20人(レベル1)、17人(レベル2)が受講、そのうち、14人(レベル1)、9人(レベル2)が修了	B	ハローワーク長浜	市民活躍課

施策番号	施策名	令和4年度の数値目標・達成すべき状態	令和4年度当初事業計画	令和4年度末の達成状況		関係する機関・団体等 (赤字が回答機関)	市の関係課 (赤字が回答課)
				取組状況	評価		
(4)健康で安心して生活できる環境づくり							
33	乳幼児健診・予防接種・総合健診・休日休館診療所等	多言語(ポルトガル語・スペイン語・英語)の各種健康診査質問票・問診票を作成・利用する	ポルトガル語、スペイン語の各種健康診査質問票・問診票の利用。乳幼児健診関係はベトナム語も作成中のため完成後利用していく。	ポルトガル語、スペイン語の各種健康診査質問票・問診票を利用した。また、事業により新たな言語版(母子保健事業一部ベトナム語)は必要に応じて作成した	A		健康推進課、地域医療課
34	多言語母子手帳の発行	継続して多言語母子手帳を発行していく	多言語母子手帳を発行する。新たな言語版は必要に応じて、作成する。	・多言語母子手帳を必要な方へ発行した(ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、中国語、英語) ・発行はなかったが準備した(タガログ語、ハンダ語、インドネシア語、タイ語、ネパール語)	B		健康推進課
35	幼稚園・保育所・認定こども園への支援員の配置・巡回	継続して支援員を配置していく	ポルトガル語4人	4名のポルトガル語通訳を継続配置し、懇談等での通訳、各種お便りの翻訳、外国籍児への保育支援を行った	B		幼児課
36	子育てに関する各種情報媒体の多言語対応	①平成30年度から「ながはま子育て応援ナビ」のポルトガル語版を作成し、ホームページ公開を開始する	ナビの内容のポルトガル語版について、優先順位を決めて作成し、市HPIにて公開	順次、翻訳を進めている	B		子育て支援課
		②「ながまるキッズ！」に掲載する情報について、必要性の高い情報から順次多言語化を行う	必要性の高い情報について、順次多言語化を図り、すでに多言語化されているページ(facebook等)との連携を図る(リンクを掲載するなど)	放課後児童クラブの申し込み案内について、市ホームページやfacebookに掲載した現在、logoフォームにて、放課後児童クラブの変更届や退所届等の手続きができるよう進めている	B		
37	国民健康保険・国民年金・福祉医療制度の周知	継続して多言語で啓発することによって、制度利用促進を図る	引き続き、多言語リーフレットを作成し、各種医療制度を周知する	多言語リーフレットにより、各種医療制度を周知するとともに、各種通知を翻訳し、わかりやすい案内を行った	B	国民健康保険団体連合会、国民年金機構	保険年金課
38	各種健康教室・保健指導	重要性のあるものは多言語でチラシや講座資料を作成し、その他は必要に応じてやさしい日本語でチラシを作成する。また、必要に応じて通訳を派遣し、教室や指導を行う	出前講座や、保健指導などで、必要に応じて通訳士の手配をする	出前講座、保健指導などで外国人が受講する場合は、必要に応じて通訳士を手配している	B		健康推進課
39	医療通訳者の派遣と育成	外国人市民に高度な医療説明が必要なときは、通訳者を派遣できる体制を維持する	引き続き、医療通訳事業補助金等により、医療通訳を行う体制を整える。	医療通訳事業補助金等により、医療通訳を行う体制を整えた。年間利用0件	B	NPO法人長浜市民国際交流協会、滋賀県、長浜赤十字病院、NPO、ボランティア等	市立長浜病院、長浜市立湖北病院、市民活躍課
40	外国人向けの「ごみの分け方・出し方」パンフレットの作成・配布	継続して多言語で啓発することによって、ごみの分け方・出し方の周知をはかる	自治会や希望者等に対し、こぼるる～(概要版)のポルトガル語・スペイン語・英語・中国語版・ベトナム語版を配布する。	自治会や希望者等に対し、こぼるる～(概要版)のポルトガル語・スペイン語・英語・中国語・ベトナム語を配布し、ごみの分け方・出し方について啓発した	B	地域自治会等	環境保全課
41	市営住宅の住まいに関する理解促進	継続して多言語やさしい日本語で啓発することによって、市営住宅に関する理解を深める	①入居者募集案内の外国語(ポ・ス・英)版を作成する。 ②入居者のしおりの外国語版(R4.4現在ポ・ス入居者あり)を作成し個別配布する。	①入居者募集案内の外国語(ポルトガル、スペイン、英語)版を作成した ②入居者のしおりの他、入居者向けチラシの外国語版(ポルトガル)を作成した	B		住宅課
42	防犯の意識啓発	多言語及びやさしい日本語で啓発することによって、防犯などの生活安全に対する意識の向上に努める	メール配信、動画配信を利用し、啓発メールを多言語、やさしい日本語で配信する。	虐待や暴力撤廃のための啓発記事をFacebookで多言語配信した	B	長浜警察署	市民活躍課
43	交通安全の意識啓発	多言語及びやさしい日本語で啓発することによって、交通安全に対する意識の向上に努める	メール配信、動画配信を利用し、啓発メールを多言語、やさしい日本語で配信する。	交通安全運動の時期にあわせて、多言語Facebookやメール配信で啓発した	B	長浜警察署	市民活躍課

施策番号	施策名	令和4年度の数値目標・達成すべき状態	令和4年度当初事業計画	令和4年度末の達成状況		関係する機関・団体等 (赤字が回答機関)	市の関係課 (赤字が回答課)
				取組状況	評価		
③多様性が輝く多文化共生の地域づくり							
(1)外国人市民の自立と社会参画のための環境づくり							
44	社会参加と生きがいづくり促進事業	各種情報ツールを利用して周知する	各種情報ツールを利用して周知する	各種イベント情報を多言語に翻訳し、Facebookで配信した	B	NPO法人長浜市民国際交流協会、NPO、ボランティア等	関係課
45	外国人市民の自治会等参加促進事業	外国人市民が集住する自治会の内、外国人市民が加入している自治会を80%とする	引き続き、外国人市民の自治会加入を促すとともに、文書の翻訳を行うことで、外国人市民も自治会行事などに参加しやすくする。また、自治会の規約や加入チラシなどの例文を外国語に翻訳した例をハンドブックにて例示する。	自治会からの依頼により規約や行事の翻訳をおこなった	B	NPO法人長浜市民国際交流協会、地域自治会	市民活躍課
46	地域で活躍する外国人市民・団体の紹介	紹介件数を年2件とする	フェイスブック、動画、多言語広報紙で、外国人市民の活躍を取り上げた記事を2件以上掲載する	広報ながはま「ときめき人」に取り上げられたブラジル国籍の方の記事を多言語に翻訳し、多言語の市Facebookで紹介した また、地域の国際交流イベントや、外国人市民・団体の活動を紹介した音楽動画を市ホームページなどで周知した	B	NPO法人長浜市民国際交流協会、公益財団法人滋賀県国際協会等	市民活躍課、政策デザイン課 (広報報道室)
47	長浜市多文化共生・国際化のまちづくり円卓会議の開催	年2回以上開催する	年1回以上開催する	1回開催した	B		市民活躍課
48	外国人市民の情報発信支援	外国人市民が主体となって開催するイベント等に関する情報提供を年2件とする	報道機関への情報提供や広報紙への掲載依頼方法などを案内し、外国人市民の情報発信支援を行う	広報紙やSNSを通して外国人市民に関する情報発信を随時行った	C		政策デザイン課(広報報道室)
49	外国人市民が主体の市民活動団体の支援	市民活動団体データベースの登録団体を1団体とする	市民協働センターと連携し、外国人市民が主体となり活動する市民活動団体を把握し、必要に応じて支援する	外国人市民が主体の市民活動団体の情報の把握に努めたが、新規の団体は見つけることが出来なかった	C	NPO法人長浜市民国際交流協会、長浜市社会福祉協議会	市民活躍課
(2)多様性を活かした活力ある地域づくり							
50	多文化共生交流事業	多文化共生のための市民交流を目的としたイベントの開催回数を15回とする	アイデア実現化をサポートするアントレプレナー制度を利用して、多文化共生に関連した多種多様なイベントを開催する(コーヒーワークショップ・お菓子作り体験など)	数学勉強会、英語勉強会等、ボランティア自身による企画運営の講座を開催した(8回)	B	NPO法人長浜市民国際交流協会、NPO、ボランティア等	市民活躍課
51	通訳・翻訳ボランティアバンク運営事業【再掲】	①ボランティア登録者数を30人とする ③通訳の派遣依頼に対応できる通訳ボランティアの制度を確立する。	必要に応じて、関係機関につなぐ	ボランティアレベルでの通訳登録者の希望者がいなかったため、増加なし(現在3名) 専門的な内容の通訳や翻訳はボランティアではできないため、専門機関へ繋ぐ	C	NPO法人長浜市民国際交流協会	市民活躍課
				ベトナム語の通訳派遣依頼1件	C		
52	日本人向け外国語教室の開催【再掲】	各教室の参加者数をポルトガル語26人、スペイン語9人、英語42人、中国語20人とする	参加者が少ない講座は、サークルとして維持できるようサポートする	コロナ禍で受講生の減少傾向にあり、英語クラスの需要も少なかったため開催なし。ポルトガル語講座も先生の退職により開催なし	C	NPO法人長浜市民国際交流協会	市民活躍課
53	姉妹都市交流 青年使節団派遣・受入事業	国際交流貢献者の割合を30%とする	R4アウグスブルク市への青年使節団派遣は中止。ヴェローナ市姉妹都市提携30周年記念事業を実施し、市民に広く国際理解の機会を提供する	ヴェローナ市姉妹都市提携30周年事業を市内各地で実施した ヴェローナ市とはオンラインによる交流を行った	A	NPO法人長浜市民国際交流協会、ボランティア等	市民活躍課
54	多文化共生・国際交流を目的とする市民活動団体の支援	多文化共生・国際交流を目的とした市民活動団体データベースの登録団体を5団体とする	市民協働センターと連携し、外国人市民が主体となり活動する市民活動団体を把握し、必要に応じて支援する	さざなみタウンで、外国人市民が主体の市民活動団体や他の団体と共催で多文化共生イベントを行った。国際協力分野の市民活動団体データベースの登録団体数:4団体	B	NPO法人長浜市民国際交流協会	市民活躍課

施策番号	施策名	令和4年度の数値目標・達成すべき状態	令和4年度当初事業計画	令和4年度末の達成状況		関係する機関・団体等 (赤字が回答機関)	市の関係課 (赤字が回答課)
				取組状況	評価		
(3)地域社会に対する意識啓発							
55	国際理解・多文化共生意識啓発事業	人権学習会の開催自治会数:20自治会	人権学習会の開催自治会数:20自治会	外国人の人権をテーマに人権学習会を開催した自治会数3件 他のテーマと合わせて外国人の人権を学習した自治会数11件 ※新型コロナの影響により、依然として人権学習会自体の実施が困難であった。	C	NPO法人長浜市民国際交流協会、地域自治会、企業、事業所等	人権施策推進課
56	「教育振興基本計画」への位置づけ及び人権教育の推進	継続して人権教育研修会を開催し、開催件数10件以上を維持する	市内各小中学校・義務教育学校における人権学習・人権研修の実施回数を10回以上とする。	10回以上人権学習・人権研修を開催した小中学校・義務教育学校 35校/35校 1校あたり 平均25回	B		教育指導課
57	多文化共生・国際理解講座の実施	①実施件数を10件とする	多文化共生・国際理解に関する出前講座を5件以上実施する。また、関連動画を作成し、配信する	多文化共生・国際理解に関する出前講座を4団体、合計8回実施した。	B	NPO法人長浜市民国際交流協会、NPO、ボランティア等	市民活躍課
		②継続して年に2回、講演会を開催する	長浜市において人口増のベトナム人の文化体験イベントを開催する	コロナ禍において、関係機関からも交流イベントへの参加は積極的ではなかったため、ベトナム人対象の体験事業の実施はなし	D	NPO法人長浜市民国際交流協会、NPO、ボランティア等	市民活躍課
(4)多文化共生推進体制の整備							
58	長浜市多文化共生・国際化のまちづくり市民会議の開催	年1回以上開催する	年2回以上開催する	対面2回、書面1回開催した	A	NPO法人長浜市民国際交流協会、地域自治会、企業事業所等、NPO、ボランティア等	市民活躍課
59	長浜市多文化共生・国際化のまちづくり行政推進会議の開催	年1回以上開催する	年2回以上開催する	2回開催した	B		市民活躍課
60	市職員研修の実施	継続して市職員対象の研修を実施していく	市職員対象の研修を実施する(市民活躍課主催)	やさしい日本語研修を実施した	B		人事課、市民活躍課
61	国、県、周辺市町との連携	継続して滋賀県市町多文化共生ワーキングに参加し、情報交換ならびに連携を図っていく	多文化共生ワーキングに参加し、情報交換ならびに連携を図っていく	多文化共生ワーキング(オンライン開催)に参加した	B	公益財団法人滋賀県国際協会、滋賀県等	市民活躍課
62	多文化共生のための拠点施設の機能強化	GEO総合来館者数:13,500人 多文化共生事業総来場者数:6,150人とする	外国籍市民のキッチンカー販売の周知により、市民の方々に足を運んでもらったり、オンライン設備設置施設として、活用を促していく。	キッチンカーでの外国料理の定期的販売提供により、市内から施設来場者が増えた。また、ヴェローナパネル展示等で施設内に於いて、異文化紹介ができた。 R4 GEO来館者数:10,534人	B	NPO法人長浜市民国際交流協会	市民活躍課
63	市民ニーズと地域社会の状況把握	①「外国人市民アンケート」②「外国人労働者に関する企業調査」③「多文化共生自治会調査」を2年に1回開催する	第3期指針行動計画の策定に向け、調査を実施し、市民ニーズを把握する	外国人市民アンケートさらに聞き取り調査を実施し、多文化共生のまちづくり指針の改定、第3期行動計画の策定の際の基礎資料とした	A		市民活躍課